「鉱物鑑定検定」実施要項

主　旨

地学および地球科学の振興を目的として、鉱物についての知識普及と鑑定能力の向上を図る検定を実施する。鉱物は固体地球を構成する最小単位であり、地学についての理解を深める上で鉱物の知識は不可欠である。また、特に野外における調査研究活動において、鉱物を肉眼で鑑定する能力は地学上の情報を得る上できわめて重要である。鉱物鑑定検定の受検や、技能レベルの向上を目指す講習会を受講することを通し、多くの方々が鉱物やそれを取り巻く自然に触れ親しみ、自然科学の楽しさに啓発されることを期待する。

１．受検資格

- 原則　小学３年生以上。（ひとりで受検できること）
- 飛び級は認めない。

２．「鉱物鑑定検定」の内容と合格基準

- 鉱物鑑定士による講習会後、休憩をはさみ、「鉱物鑑定検定」を行う。１～５級は講習会なし。
- 講習会は、「鉱物鑑定基準鉱物」に基づく「鉱物鑑定検定」の内容を中心にして行う。

以下の合格基準により、それぞれの級の合格とする。

級	出　　題	「鉱　物　鑑　定　検　定」の　内　容	合格基準	講習時間	検定時間
8	文章による問題　５０点	・鉱物種とは何か ・８級の鉱物鑑定基準鉱物について	70/100 点以上	９０分	４５分間
	実技（肉眼鑑定）５０点	・８級の鉱物鑑定基準鉱物（23 種）			
7	文章による問題　５０点	・８級までの内容 ・７～８級の鉱物鑑定基準鉱物について ・鉱物の観察方法と採集方法 ・鉱物の性質(硬度･比重･へき開･蛍光など)	70/100 点以上	９０分	４５分間
	実技（肉眼鑑定）５０点	・７～８級の鉱物鑑定基準鉱物（57 種）			
6	文章による問題　５０点	・７級までの内容 ・６～８級の鉱物鑑定基準鉱物について ・鉱物の磁性・放射性 ・鉱物の化学組成・結晶系・結晶形態・酸に対する反応など ・鉱物産地の地質状態と産出鉱物 ・化学組成式や化学組成による分類	70/100 点以上	９０分	４５分間
	実技（肉眼鑑定）５０点	・６～８級の鉱物鑑定基準鉱物（108 種）			
5	文章による問題　５０点	・６級までの内容 ・５～８級の鉱物鑑定基準鉱物について ・鉱物の英名 ・日本の有名鉱物産地と産出鉱物	70/100 点以上	なし	６０分間
	実技（肉眼鑑定）５０点	・５～８級の鉱物鑑定基準鉱物（161 種）			
4	文章による問題　５０点	・５級までの内容 ・４～８級の鉱物鑑定基準鉱物について ・鉱物学的な知識・鉱物標本の管理の仕方	70/100 点以上	なし	６０分間
	実技（肉眼鑑定）５０点	・４～８級の鉱物鑑定基準鉱物（213 種）			
3	文章による問題　３０点	・４級までの内容 ・４～８級の鉱物鑑定基準鉱物について ・鉱物種全般についての鉱物学的な知識	80/100 点以上	なし	６０分間
	実技（肉眼鑑定）７０点	・４～８級の鉱物鑑定基準鉱物及び肉眼で識別できる範囲での鉱物種全般			
2	実技及び論述問題	出題された標本に対する肉眼鑑定と論述	70/100 点以上	なし	６０分間
1	実技及び論述問題	出題された標本に対する肉眼鑑定と論述	70/100 点以上	なし	６０分間

３．鉱物鑑定基準鉱物表

＊鉱物グループ名　　（　）はグループ内の鉱物が上の級で出題される鉱物　　表改定 2013 年 4 月 1 日

分類＼級	８　級	７級	６級	５級	４級
元素鉱物	自然金 石墨 自然硫黄	自然銅 自然銀	自然水銀 ダイヤモンド	自然蒼鉛	自然砒 自然テルル
硫化鉱物 砒化鉱物	閃亜鉛鉱 黄銅鉱 方鉛鉱 辰砂 黄鉄鉱	斑銅鉱 輝安鉱 硫砒鉄鉱 輝水鉛鉱	四面銅鉱＊ 磁硫鉄鉱 ベルチェ鉱 鶏冠石 石黄	硫カドミウム鉱 紅砒ニッケル鉱 針ニッケル鉱 銅藍 輝蒼鉛鉱 輝コバルト鉱 白鉄鉱 濃紅銀鉱と淡紅銀鉱	輝銅鉱とジュルレ鉱 針銀鉱 閃マンガン鉱 黄錫鉱 硫砒銅鉱 キューバ鉱 車骨鉱 毛鉱
酸化鉱物	磁鉄鉱 石英 オパル	コランダム 赤鉄鉱 ルチル 錫石	赤銅鉱 苦土スピネル チタン鉄鉱 鋭錐石 板チタン石 フェルグソン石＊ 鉄重石	緑マンガン鉱 ヤコブス鉱 クロム苦土鉱と、 クロム鉄鉱 ハウスマン鉱 鱗珪石 クリストバル石 二酸化マンガン鉱＊ ブルース石 針鉄鉱	鉄スピネル 金緑石 パイロファン石 コルンブ石＊ 閃ウラン鉱 ギブス石 ダイアスポア 水マンガン鉱
ハロゲン化鉱物	蛍石		岩塩	アタカマ鉱	
炭酸塩鉱物	方解石 藍銅鉱 孔雀石	アラレ石	菱苦土石 菱マンガン鉱 苦灰石 白鉛鉱	菱亜鉛鉱 菱鉄鉱	水苦土石 アルチニー石
硫酸塩鉱物 ﾀﾝｸﾞｽﾃﾝ酸塩鉱物 モリブデン酸塩鉱物 クロム酸塩鉱物	石膏	重晶石 灰重石	硬石膏 天青石 硫酸鉛鉱	ブロシャン銅鉱 青鉛鉱 モリブデン鉛鉱	明礬石 鉄明礬石 紅鉛鉱
燐酸塩鉱物 砒酸塩鉱物 バナジン酸塩鉱物		燐灰石＊ 藍鉄鉱	緑鉛鉱 ミメット鉱 バナジン鉛鉱 燐銅ウラン石 燐灰ウラン石	ゼノタイム＊ モナズ石＊ スコロド石 コバルト華	オリーブ銅鉱 アダム鉱 斜開銅鉱 銀星石 トルコ石
珪酸塩鉱物	（カンラン石＊） （ザクロ石＊） トパズ （輝石＊） （角閃石＊） （雲母＊） （長石＊）	苦土カンラン石 鉄カンラン石 ジルコン 珪線石 紅柱石 藍晶石 緑柱石 リチア電気石 鉄電気石 透輝石 灰鉄輝石 ヒスイ輝石 普通輝石 普通角閃石＊ 珪灰石 白雲母 黒雲母＊ カリ長石＊ （斜長石＊）	鉄礬ザクロ石 マンガン礬ザクロ石 灰礬ザクロ石 灰鉄ザクロ石 十字石 チタン石 異極鉱 斜灰簾石と灰簾石 緑簾石 紅簾石 褐簾石 ベスブ石 斧石＊ 菫青石 透閃石 緑閃石 葡萄石 魚眼石＊ 滑石 リチア雲母＊ 珪孔雀石 曹長石 灰長石	テフロ石 ブラウン鉱 ダトー石 ガドリン石＊ 珪灰鉄鉱 頑火輝石 リチア輝石 バラ輝石と、 ﾊﾟｲﾛｸｽﾏﾝｶﾞﾝ石 イネス石 緑泥石＊ 蛇紋石＊ 方ソーダ石 ラズライト 方沸石 ダンブリ石 柱石＊ ソーダ沸石 濁沸石 輝沸石＊ 束沸石＊ 十字沸石＊ 菱沸石＊	珪亜鉛鉱 苦礬ザクロ石 灰クロムザクロ石 斜ヒューム石 スパー石 デュモルチ石 ローソン石 パンペリー石＊ ズニ石 苦土電気石 大隅石＊ 翠銅鉱 ヨハンセン輝石 エジリン 藍閃石 ペクトライト 真珠雲母 葉ロウ石 スティルプノメレン カリオピライト 白榴石 カスミ石 ペタル石
合計数	１７＋（６）	３３＋（１）	５１	５３	５２

４．「鉱物鑑定検定」の日程（予定）　　2026 年 9 月現在

2026 年度（令和 8 年度）

実施年月	検定会場		8級	7級	6級	5級	4級	3級	2級	1級
2026 年 10 月 11 日	京都	石ふしぎ大発見展京都ミネラルショー	○	○	○	○	○	○	○	○
2026 年 12 月中旬	東京	東京ミネラルショー	○	○	○	○	○	○	○	○
2027 年 2 月	京都	益富地学会館			○					

2027 年度（令和 9 年度）

実施年月	検定会場		8級	7級	6級	5級	4級	3級	2級	1級
2027 年 4 月下旬	大阪	石ふしぎ大発見展大阪ミネラルショー	○	○	○	○	○	○	○	○
2027 年 5 月下旬	東京	東京国際ミネラルフェア	○	○	○	○	○	○	○	○
2027 年 9 月下旬	名古屋	名古屋ミネラルショー	○	○	○	○	○	○	○	○
2027 年 12 月中旬	東京	東京ミネラルショー	○	○	○	○	○	○	○	○

５．鉱物鑑定検定の検定料（消費税を含む）

等級	鉱物鑑定検定料
８級	￥５，０００－
７級	￥５，０００－
６級	￥５，０００－
５級	￥５，０００－
４級	￥５，０００－
３級	￥１０，０００－
２級	￥１０，０００－
１級	￥１０，０００－

６．出願

・規定の出願申込書に必要事項を記入し、郵送もしくは FAX やメール添付で益富地学会館へ提出すること。出願申込書を使わずにホームページ上のフォーム入力で申込みも受付可能である。
・出願期間は、原則**検定日の1ヶ月前から 10 日前まで**。検定会場・級によって締切日に開きがあるので、直接問い合わすかホームページ等で必ず確認すること。
・各会場の検定日、出願締切日は、決まり次第ホームページ等に掲載する。

7. 併願受検

・８級から６級は隣接した２つの級を併願受検することができる。
・下級が不合格点であった場合は、どちらの級も『不合格（失格）』とする。

８．鉱物鑑定士・鉱物鑑定士補の認定

・別紙『鉱物鑑定士・鉱物鑑定士補 認定基準』を参照のこと。

９．当日の持ち物

・受検票　　・鉱物鑑定検定料　　・筆記用具　　・ルーペ（８～１０倍）
・６級・７級は講習時に書籍『楽しみながら学ぶ 鉱物鑑定図鑑』発行：松香堂書店（益富地学会館 HP で販売）
・７級・８級は、検定時に参考書籍と基準鉱物表の持ち込みが可能・・・６ページ　Ｑ＆ＡのQ7 参照のこと

（４級・５級・６級受検者には、検定時に基準鉱物表が再配布される）

１０．『鉱物鑑定検定』を受検するにあたっての注意

下記に該当する行為をした受検者は、その場で失格・退場とし、答案の採点はしない。
不正行為が合格・認定後に判明した場合は、その合格・認定を取り消し、以後の受検を断る場合がある。

・本人以外が受検する
・『鉱物鑑定検定』の講師等の指示に従わない
・他の受検者に迷惑をかける
・検定中に他の受検者に資料等の受け渡しをする
・検定中に携帯電話・カメラや録音機器などを使用する
・答案用紙の持ち出しをする
・『講習会』や『鉱物鑑定検定』中に、無断で退席・再入場する
・その他の不正行為

１１．個人情報の取り扱いについて

益富地学会館が実施する『鉱物鑑定検定』の申込によって取得した個人情報は、当該『鉱物鑑定検定』の実施、検定結果の送付や鉱物鑑定士・鉱物鑑定士補の当該認定目的の遂行に必要な範囲で使用する。

『鉱物鑑定検定』の業務に関して得た個人情報は、原則として公開しない。
但し、以下に該当する場合は本人の同意なく当該第三者に情報の提供をすることがある。

１．法令に基づき、警察、裁判所等の国や地方の諸機関より、個人情報の開示が求められた場合
２．(公財)益富地学会館の権利や財産を保護するために開示が必要な場合
３．その他、正当な事由がある場合

本検定の出願申込者は、上記の事項について同意しているものとみなす。

１２．『鉱物鑑定検定』の出願申込に関する問合せ

（公財）益富地学会館

〒６０２－８０１２　京都市上京区出水通烏丸西入　中出水町３９４
℡：０７５－４４１－３２８０　　Fax：０７５－４４１－６８９７
http://www.masutomi.or.jp　　E-mail:　info@masutomi.or.jp

１３.『鉱物鑑定検定』の出願・受検・認定までの手続き

出願申込書の請求

・ 規定の出願申込書と資料を益富地学会館に請求してください。
・ 検定日の約１ヶ月前より、ホームページからもダウンロード可能です。

出願申込書に記入・益富地学会館へ提出

・ 規定の出願申込書に記入し、郵送もしくは FAX やメール添付でご提出ください。出願受付期間にご注意ください。（３ページ　『**６.出願** 』　参照）
・ 締切後の出願申込書の受付はできません。８級のみ、定員に空きがあれば検定当日の申し込みができます。

受検票の受取

・ 受検票は、検定日の約１週間前までに一括して発送します。
・ 検定日の５日前になっても受検票が届かない場合は、益富地学会館へご連絡ください。

『鉱物鑑定検定』の当日

・ 検定料は、検定当日に鉱物鑑定検定会場入口に設置する**検定受付でお支払い**ください。

結果と合否通知の受取

・ 検定日から、約２週間後に合否通知が郵送で届きます。
（年末年始を挟む場合はこのとおりではありません）

益富地学会館が認定する鉱物鑑定士・鉱物鑑定士補の認定をご希望の方は、規定の認定申請書にて申請

・ 詳しくは別紙『鉱物鑑定士・鉱物鑑定士補　認定基準』をご参照ください。
・ 認定申請は、できる限り検定合格から１年以内にお願いします。

Ｑ＆Ａ　申込する前に･･･

Ｑ１．どのような検定ですか？

各級に基準鉱物があり、その級の**鉱物の肉眼鑑定ができるようになるための検定**です。
『鉱物鑑定検定』には、文章による問題と実技（肉眼鑑定）があります。

Ｑ２．初心者でも大丈夫ですか？

『鉱物鑑定検定８級』は、初心者向けですので最近鉱物に興味を持ち始められた方は大歓迎です。
検定前の講習会で、８級基準鉱物の現物を見せながら詳しく説明をしますので初めての方も大丈夫です。
もしも事前学習をされるのであれば、鉱物鑑定検定実施要綱内の『鉱物鑑定基準鉱物表』の鉱物を図鑑などで調べておいてください。

Ｑ３．初めて受検します。何級から受ければいいですか？

初めての方は、８級から受検していただきます。（８級と７級の併願受検もできます：３ページ　**『７.併願受検 』**　参照）合格すれば『鉱物鑑定士補８級』、不合格のときは、講習会を受けたことで『鉱物鑑定士補９級』が認定されます。

Ｑ４．小学生でも受検できますか？

原則として低学年（１，２年生）は、お断りしています。３年生以上であっても漢字の読みや意味が分からない場合は受検の延期をお勧めします。保護者の付き添いはできませんので、１人で受検していただくことになります。不明な点はご相談ください。

Ｑ５．講習会だけ、または 6～8 級の検定だけを受けることはできますか？

講習会のみの受講または 6～8 級の検定だけを受検することは、認めていません。

Ｑ６．だいたいどれくらいの時間がかかりますか？

講習会と検定でだいたい２時間半くらいです。８級の場合、講習会が９０分、休憩をはさみ検定を行います。検定は、できた人から答案を提出して退室が可能ですので、早い方だと１０分くらいで終えられる場合もあります。

Ｑ７．問題集や参考書はありますか？

問題集はありませんが、下記の書籍を推薦しています。益富地学会館やホームページでも販売しています。

- **松香堂書店『楽しみながら学ぶ 鉱物鑑定図鑑』編著：益富地学会館　鉱物鑑定図鑑編集委員会**
- ナツメ社　『史上最強カラー図解　鉱物・宝石のすべてがわかる本』
- 学研　　『ポケット版　学研の図鑑７　鉱物・岩石』　　***←　初心者向き***

『楽しみながら学ぶ 鉱物鑑定図鑑』は７級の講習で使用します。鉱物鑑定士が書いた本ですので上級を目指す方には特にお勧めします。（益富地学会館 HP で販売　https://masutomi.or.jp/pages/70/ ）

Ｑ８．ルーペは必要ですか？

ルーペは、これから鉱物を学習する上で必要なものです。**当日貸出用がありますが**、ご自分用のものを持っておかれることをお薦めします。益富地学会館でも販売しております。

Ｑ９．７級からの受検は可能ですか？

飛び級は認められませんが併願受検は可能です。この実施要項１ページ**『 1.受検資格 』**、3 ページ**『 7.併願受検 』**をご覧ください。

Ｑ１０．結果はいつごろ届きますか？

結果は、受検後２週間ぐらいで郵送いたします。但し、年末の東京での受検結果は、年明けになることがあります。

Ｑ１１．出願申込受付はいつからですか？

鉱物鑑定検定日の**1ヶ月前から受付開始し、検定日の 10 日前**（規定の出願申込書必着）まで受付していますが会場や受検級によって変わることもあるので、必ずホームページ等でご確認ください。

2026 年 9 月

鉱物鑑定検定 出願申込書

事務使用欄
受検 NO

合否

申込方法： 空欄に必要事項をご記入の上、**郵送**または **FAX** や **E メール添付**にてお申込みください。**この出願申込書の提出またはフォーム入力をもって正式な申込**と致します。出願申込書を使用せずにインターネット上のフォームでの申し込み方法もございます。詳しくはホームページをご確認ください。

＊は必須項目

	年 月実施の鉱物鑑定検定受検を申し込みます。						
＊併　願 （〇をつけてください）	する・しない		併願は 6～8 級のみ可能です。				
＊受検級 （〇をつけてください）	8	7	6	5	4	3	2	1
	併願は、受検する級全てに〇をつけてください。						
＊検定会場 （〇をつけてください）	石ふしぎ大発見展 大阪ミネラルショー	名古屋ミネラルショー	東京ミネラルショー				
登録番号						←初めて 8 級を受検の方は空欄のままで結構です	
＊フリガナ							
＊氏　名							
＊住　所	〒						
＊電話番号	最も連絡のつきやすい電話番号						
FAX 番号							
E-mail	@						
＊生年月日	西暦　　年　　月　　日生まれ　　（　　）歳						
現在の合格級	級						
現在の合格級を受検した年月と会場	年　　月	会場					

提出先　《郵送》〒602-8012　京都市上京区出水通烏丸西入 中出水町 394
(公財) 益富地学会館　鉱物鑑定検定　　宛
《E-mail》info@masutomi.or.jp　　《FAX》　075-441-6897
お問い合わせ先　TEL：075-441-3280　E-mail：info@masutomi.or.jp

事務使用覧		
受検日入力	合格級入力	認定級入力

■提出された個人情報は、『鉱物鑑定検定』に関わる業務以外の目的で使用することはありません。